

ロータリー財団地区補助金・個別プロジェクト終了報告書

提出日 2025年4月6日

第2720地区・R財団
地区補助金委員会 御中

プロジェクト承認番号 DG-2563849-15 クラブ名 : 大分中央ロータリークラブ

プロジェクト名 : 4団体連携清掃活動並びに交流会

(プロジェクト終了後2週間以内に報告をお願いします。)

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。

令和7年3月22日に大分市向原沖地区における市街地清掃活動と大分市横尾の希感舎にて活動報告会並びに交流会を行いました。

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのくらいですか。 100 名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。

* 直接的な受益者:

- * 清掃活動に参加した約100名の参加者: 地域貢献を実感し、他の団体との交流を深める機会を得られました。
- * 清掃活動を行った地域の住民: 清掃によって生活環境が美化され、快適な環境で生活できるようになります。
- * 大分被害者支援センター: 支援金(支援品)の贈呈により、被害者支援活動をより円滑に進めることができます。また、他の団体との連携を深めることで、支援の幅を広げることが期待できます。
- * 大分東リトルシニア: 支援金(支援品)の贈呈により、子どもたちの健全な育成活動をより充実させることができます。また、地域貢献活動への参加を通じて、社会性を育む機会を得られます。
- * 地域の宝支援センター: 支援金(支援品)の贈呈により、地域活性化に向けた活動をより推進できます。他の団体との連携を通じて、活動の幅を広げることが期待できます。
- * 大分中央ロータリークラブの会員: 地域社会への貢献を実感し、他の団体との連携を強化することで、ロータリークラブの活動意義を高めることができます。

* 間接的な受益者:

- * 大分県民全体: 地域環境の美化は、県全体の景観向上につながります。また、各支援団体の活動が活発になることで、より安心・安全な地域社会の実現に貢献します。
 - * 将来の世代: 美化された環境を引き継ぐことができます。また、地域貢献活動の重要性を学ぶ機会となります。
- このように、清掃活動と交流会という複合的な事業であるため、参加者だけでなく、地域住民、支援を必要とする人々、そして将来の世代まで、幅広い層が受益を受けることになります。特に、各団体間の連携強化は、今後長期的にわたる地域社会への貢献に繋がる重要な要素と言えるでしょう。

プロジェクトはどのような人道的又は教育的なニーズに応えましたか。

このプロジェクトは、清掃活動と交流会という二つの側面から、以下のような人道的および教育的ニーズに応えています。

人道的ニーズ:

- * 環境美化による生活環境の改善: ゴミの散乱した場所を清掃することで、地域の住民はより清潔で快適な環境で生活できるようになります。これは、基本的な生活の質を向上させるという人道的なニーズに応えるものです。特に、昨年と同じ場

所でトラック一杯のゴミがあったという事実は、継続的な清掃の必要性を示唆しており、地域住民の衛生的な生活環境を維持する上で重要な貢献となります。

* 被害者支援団体の活動支援: 大分被害者支援センターへの支援金(支援品)の贈呈は、犯罪被害者やその家族が直面する困難な状況を改善するための活動を支援するものであり、人道的な観点から非常に重要です。被害者の方々が必要とする精神的、経済的なサポートを提供するためのリソースを増やすことに繋がります。

* 地域における弱者支援の促進: 地域の宝支援センターへの支援は、地域で支援を必要とする人々へのサポート体制を強化するものであり、社会的な包摂を促進する人道的なニーズに応えます。

教育的ニーズ:

* 地域貢献意識の醸成: 清掃活動への参加は、参加者、特に次世代を担う大分東リトルシニアの子どもたちにとって、地域社会の一員としての責任感や貢献意識を育む貴重な機会となります。自分たちの手で地域をきれいにするという経験を通して、公共心やボランティア精神を学ぶことができます。

* 環境問題への意識向上: 大量のゴミが回収されたという事実は、参加者にとって改めて環境問題の現状を認識する機会となります。清掃活動を通じて、ゴミの削減やリサイクルの重要性など、環境保全に関する意識を高めることができます。

* 他団体との交流による学び: 異なる目的を持つ団体(被害者支援、青少年育成、地域活性化)が一堂に会し、それぞれの活動報告を行うことは、参加者にとって多様な社会活動への理解を深める教育的な機会となります。異なる視点や価値観に触れることで、視野を広げることができます。

* 次世代育成への貢献: 大分東リトルシニアへの支援は、子どもたちの健全な育成を支援するものであり、地域社会の未来を担う人材を育てるという教育的なニーズに応えます。スポーツ活動を通じて、体力向上だけでなく、規律性や協調性といった社会性を養うことにも繋がります。

このように、このプロジェクトは、単に清掃を行うだけでなく、参加者や地域社会全体の人道的ニーズと教育的ニーズの両方に応える複合的な意義を持つ活動と言えるでしょう。各団体との連携を通じて、より効果的かつ多角的な貢献を目指していることが伺えます。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 20 名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。

プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

ロータリークラブメンバーは、企画・運営の中心となり、他団体との連携を促進、資金・資源の提供、清掃活動への積極的な参加を通じて、事業を推進する役割を担いました。

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

協力団体は、それぞれの専門性を活かし、清掃活動への人員協力、各団体の活動報告による相互理解促進、支援金・品の有効活用による活動推進、今後の連携強化に向けた協力体制構築を担いました。

証明の署名

本報告書に署名することで、私の知る限りにおいて、地区補助金の資金が管理委員会の指針に準拠し認められた項目にのみ使用され、ここに記された全ての情報が事実であり、かつ正確であることを認めます。補助金資金の全ての支出の領収書を、地区に提出しました。また、私は、本報告書に関連して提出した写真は全て、RIの所有物となり、返送されないことも理解しています。私は著作権を含めこの写真の全ての権利を所有することを認め、時と場所を問わず、いかなる方法、また現在知られている媒体または後に作成される媒体において、使用料なしで写真を使用する取消不能な許可をRIとロータリー財団に与えます。これには必要であれば、RIの独自の裁量により写真に修正を加える権利が含まれます。また、RI及びロータリー財団が、ウェブサイト、雑誌、冊子、パンフレット、展示、その他の推進資料において写真を制限なく使用できる権利も含まれます。

クラブ名: 大分中央ロータリークラブ 署名日: 2025年 4 月 6 日

ロータリーの役職: 奉仕プロジェクト委員長 署名: 藤澤 卓弘

ロータリー財団地区補助金・写真、記事等報告書

提出日 2025年4月6日

第2720地区・R財団
地区補助金委員会 御中

プロジェクト 承認番号 DG-2563849-15 クラブ名 : 大分中央ロータリークラブ

プロジェクト名 : 4団体連携清掃活動並びに交流会

受益者記述書又はクラブ責任者報告書（新聞記事や写真等を貼付してください。）

記事や写真をプロジェクトの概要が分りやすい方法であれば本紙以外で報告されても構いません。







